

- 4 今後の栽培管理について
確認しましょう!
- 6 生理障害や病害虫の発生に
注意しましょう!
- 8 ひがしかわライスターミナル機能性精米工場（第一期）稼働開始式
並びに米穀乾燥調製貯蔵施設建設工事（第二期）安全祈願祭開催
- 10 人間ドックを受診しましょう
- 11 トピックス
- 12 道外トップセールス
- 13 JAひがしかわ野球部特集!
- 14 来月のカレンダー

大雪清流 でつぺんだより

JA Higashikawa Public relations magazine Daisetsu Seiryu Teppen Dayori



特集

担い手としての思い

JAひがしかわ青年部 東川町蔬菜青年部部长

つや たつや
津谷 竜矢



2024

vol.611



つや たつや
津谷 竜矢

平成20年に北海道旭川工業高校を卒業後、自動車関係の仕事に就農。その後、東川町に戻り、3年間実家の農業を手伝い、令和元年に新規就農。令和3年より東川町野菜青年部の役員を務め、令和6年度に部長を務める。

Strong spirit of Challenge
担い手としての思い

JA ひがしかわ青年部
東川町野菜青年部部長
つや たつや
津谷 竜矢

令和6年度に、東川町野菜青年部部長を務める津谷さんに、今後の営農と青年部活動への抱負、東川町野菜青年部部長としての抱負をお聞きました。

農業をはじめのきっかけ

高校卒業後は、道外で就職をしていましたが、趣味であるフリースタイルスキーを行うために、北海道へ戻り親の農業を手伝い始めたのがきっかけです。農作業を行ううちに、農業の奥深さや、やりがいを感じ、3年後に新規就農することを決意しました。昨今の農業を取り巻く環境は、農業者の高齢化や労働力不足、農業用資材、燃料費等の高騰など厳しさを増していますが、先輩方や同じ年代の仲間たちの頑張っている姿に影響を受け、厳しい時代だからこそ負けずに頑張ろうと強く思います。

今後、面積が増えたとしても品質の良いものを安定してとれるよう知識を身に付け、実践を重ねていきたいと思っています。

また、家族あつての仕事なので、家族に認めてもらえるよう家事育児を積極的に行い、農業との両立をしていきたいと思っています。

青年部活動について

今後、ひがしかわライスターミナル機能性精米工場が稼働することから、施設を活用した新しい青年部活動を展開していきたいです。町内の小中学校に通う子供たちの成長や食育に繋がる活動などにも積極的に携われたらと思います。部員の知恵や経験を共有し合い、協力して東川農業をより良くしていきたいと思っています。

東川町野菜青年部について

農業者の減少と高齢化を背景に経営規模の拡大、農業生産資材、燃料等のコストが高騰しているなか、農業所得増大を図るには、水稲のみの作付けではなく、野菜との複合経営を行い、高品質で安定した収量をとる生産技術の習得が必要になります。

野菜青年部では、その生産技術を学び、それぞれの知識、経験を情報共有しながら、部員間で意欲を高め経営発展を図りたいと思っています。



3. ケイ酸資材の追肥

ケイ酸資材の追肥を実施することにより、茎の強度が向上し耐倒伏性が向上します。葉全体が直立することにより下葉にも太陽光が当たるようになり、でん粉の成分と転流が活発になるため、タンパク含有率が下がり、食味の向上などが期待できます。

4. 注意すべき病害虫について

(1) いもち病

いもち病は、風速が低く、日照がない条件で葉面湿潤時間が10時間以上となった時、平均気温が15～25℃であれば感染に好適な条件となります。特に山際などの日陰になりやすい水田は注意しましょう。圃場予察、適期防除を併せて行いましょう。

発生予察は幼穂形成期5日後から約7日間隔で出穂期まで見歩き調査を行ってください。予察の結果、葉いもちが見つからない場合は、基幹防除のみの対応も可能となります。また、**いもち病は出穂後20日間の内に発生すると減収の可能性があるので、適正防除に努めてください。**

(2) アカヒゲホソミドリカスミカメ

アカヒゲホソミドリカスミカメは、出穂期に第2世代成虫が浸入し産卵します。その後の第3世代幼虫が加害の中心となることから、**防除適期は、出穂期と出穂後7～10日が目安**となります。被害を受けると、斑点米の原因となるため、圃場周辺の草刈りと予察を行いましょう。

(3) ウンカ類

近年、ウンカ類の発生増加に伴い、「縞葉枯れ病」の発生が見られております。定期的な予察を実施し、予防防除など対策を講じましょう。

写真4 葉いもち



写真5 アカヒゲホソミドリカスミカメ(成虫)



写真6 縞葉枯れ病



今後の栽培管理について確認しましょう!

水管理や防除、畦畔の草刈りなど、管理作業が大変な時期ですが、今後の栽培管理の注意点を確認し高品質米生産に努めましょう。



1. 収量確保のため水管理を徹底しましょう。

前歴期間終了後の冷害危険期もしっかり深水管理をしましょう(前歴期間10日以降の約7日間)冷害危険期に低温に遭遇すると正常な花粉が減少し、収量低下へ繋がります。冷害危険期は止葉と前葉の付根にある「葉耳」の間隔(葉耳間長)を計測して判断します。止葉と前葉の**葉耳間長が-5cm(写真1)で冷害危険期の始まり**となります。

水深は**幼穂の伸長に合わせて徐々に深くし、最大18~20cm**を保ち、低温から幼穂を守りましょう。天候不順が続くと止葉の抽出が鈍り冷害危険期が長引きますので、葉耳間長を確認して適時深水期間の延長を図ってください。また、晴天などの気温が高い場合は浅水管理を行い、分けつを促進させましょう。

※前歴期間: 幼穂形成期からおよそ10日間の期間、幼穂長だと0.2~0.25cmの期間

2. 冷害危険期終了後には根の活性化を行いましょう。

冷害危険期終了後は長期間の深水により、根の活性が低下していますので中干しの実施をしてください。**圃場全体の80%程度が止葉と前葉との葉耳間長が+5cm(写真3)に達したら冷害危険期の終了**です。中干しを行うことで田面の引き締めによる倒伏防止効果と、根の健全な発育により良好な登熟を維持する効果があり、白未熟粒の発生が減少します。また、中干し中は土壌表面に亀裂が生じ土中に空気が入るようになりますが、亀裂が大きくなりすぎると根が切れてしまうので、亀裂の幅は5mm程度が目安となります。他にも、落水後速やかに水が抜けるよう溝切りを行うと効果的です。実施期間は5日程度が適当です。

写真1
葉耳間長-5cm
(冷害危険期の始まり)写真2
葉耳間長±0cm
(冷害危険期の最中)写真3
葉耳間長+5cm
(冷害危険期終了)

○ブロッコリー

- この時期から、降水量が増加していくため黒すす病の注意が必要となってきます。黒すす病は発病すると葉や花蕾に黒色の小斑点や病斑が見られるようになります。対策としては輪作をして連作を避けることや農薬による防除があり、登録のある農薬の例としてはアミスター20フロアブルやファンタジスタ顆粒水和剤などが挙げられます。

○スイートコーン

- 7月～8月にかけて、アブラムシが多発するため、適期防除を行い対策しましょう。また、**絹糸抽出前までに2回追肥**を行い、俵の肥大促進に努めましょう。出穂・開花・受精の時期には水分が必要となります。水分が不足し、高温・乾燥状態が続くと先端不稔の原因となるため注意しましょう。

- 追肥**
- 1回目：本葉4～7葉目
 - 2回目：本葉8～雄穂出始めの頃

2. 生理障害について確認しましょう

○トマト

障害名	原因	対策
乱形果	花芽分化期の低温・強草勢	適正な温度・草勢管理
尻腐れ果	カルシウム欠乏 (夏季高温時の乾燥)	適正な施肥・水分管理、石灰資材の施用
裂果	果実への強日射、急激な水分変化	遮光資材の活用、少量多灌水を行う (急激な水分変化を起こさない)
グリーンバック果	窒素過多、高温・乾燥	適正な施肥・水分管理

○ピーマン

障害名	原因	対策
尻腐れ果	高温時の水分不足 カルシウム欠乏	土壌水分の保持、石灰資材の葉面散布
日焼け果	強い直射日光 果面が40℃以上で発生しやすい	適度に葉かけを作る整枝を行う
変形果	過度の低温、高温による受精不良	生育にあった温度管理、灌水を行う

○ブロッコリー

障害名	原因	対策
ブラウンビーズ	花蕾肥大期のストレス 高温、乾燥、強日射	花蕾肥大期の肥料切れを防ぐ 乾燥に注意し適期収穫をする
リーフィー	花芽分化後の高温 窒素過多	花蕾肥大期の肥効の抑制
ボトニング	窒素不足、水分不足、水分過多 低温の影響	適正施肥 トンネル掛けなどでの保温

【尻腐れ果】



※作物の異変や不明な病害虫被害がございましたら購買指導課（TEL 82-2054）までお問い合わせください。

生理障害や病害虫の発生に注意しましょう！

7月は気温上昇・日照量増加に伴い、トマトやピーマンなどの果菜類は生理障害の発生が多くなります。原因と対策を確認し発生を防ぎましょう。また、病害虫の発生も多くなっており、適期防除を行い、収量・品質向上に努めましょう。

野菜



1. 品目別栽培管理

○トマト

- ハウス内が30℃を超えると株の体力が消耗し、受粉不良や落花の発生が懸念されるため、気温や灌水管理等に注意しましょう。また、株にかかる着果負担は一段目収穫開始直前(6段目開花頃)が最大となります。草勢の低下は生育遅延や中段以降の着果不良につながるため、適切な追肥による草勢管理を行って下さい。
- 灰色かび病は、気温20℃前後の湿度が高いときに発生が多くなります。薬剤を散布する前に、がく部に付着した花や傷んだ葉、収穫段下の老化した葉を取り除いて、ハウス内の通気性をよくしてから予防防除してください。

○ピーマン

- 高温性の野菜ですが、ハウス内の気温が32℃を超えると落花しやすくなります(花粉の受精能力の低下)。こまめに換気を行うとともに、L・M中心の収穫や内側の混みあった枝を整理し、着果負担を軽減させましょう。
- 少量多回数灌水を実施し、常に土壌の適湿を保ち、尻腐れ果や生長点の焼け症状の発生を防ぎましょう。
- アブラムシ、スリップス、ハダニはこまめに観察して、初期段階での防除を徹底してください。

○長葱

- アザミウマ類やハモグリバエの発生が増加するので、定期的な予察と初発防除を心がけましょう。
- 露地長葱の最終土寄せは、収穫前25日前後を目安に行いますが、生育が遅れている場合は十分に生育してから行い、軟白部の長さを35cm以上確保しましょう。

<培土の目安>

培土時期	方法・注意事項
定植 20 日目頃 葉鞘の太さが 8 ～ 12mm	2 ～ 3 回に分けて植溝が平らになる程度に埋め戻す
定植 40 ～ 50 日目頃 葉鞘の太さが 15mm 程度 葉数が 4 ～ 5 枚になった頃	葉の分岐点が埋まらない程度に培土を行う 葉の分岐点が埋没すると生育が遅れる
定植 70 ～ 80 日目頃	
定植 100 日目頃 収穫予定の 3 週間前	葉の分岐点が埋まらない程度に培土を行い、鍬などで手直しする

ひがしかわライスターミナル機能性精米工場（第一期）稼働開始式 並びに米穀乾燥調製貯蔵施設建設工事（第二期）安全祈願祭開催

6月24日（月）、西3号北31番地のJAひがしかわホクリツ農業倉庫群特設会場にて、ひがしかわライスターミナル機能性精米工場（第一期）稼働開始式並びに米穀乾燥調製貯蔵施設建設工事（第二期）安全祈願祭を開催し、関係者約100名が参加致しました。精米工場稼働セレモニーとして、牧組合長、菊地町長、樽井JA中央会会長、東衆議院議員、伊藤大衆産業代表取締役社長、渡久山百農社国際有限公司課長によるテープカットが行われました。その後、工場概要説明、ひがしかわライスターミナル機能性精米工場で精米されたお米「機能性健康米製法最上級特撰東川米 ななつぼし」を使用した握りたてのおむすびの試食が行われました。

ひがしかわライスターミナル機能性精米工場稼働後は、町内はもとより、国内外への展開拡大に向け、宅配や飲食店への販売等を強化いたします。



牧組合長あいさつ



本日はお忙しい中、多くの関係者皆様のご臨席のもと、ひがしかわライスターミナル第一期工事の機能性精米工場稼働開始式、並びに、第二期工事の米穀乾燥調製貯蔵施設新築工事の安全祈願祭にご臨席を賜りまして、誠にありがとうございます。

また、樽井会長におかれましては、本日はJA北海道中央会会長としてだけでなく、北海道米販売拡大委員会委員長として、当地の東川米も含め、日頃より北海道米の消費拡大や全国プロモーション活動など、様々な現場で陣頭指揮を執られており、さらには、この式典にも北海道米アンバサダーのお二方とともに早々よりご対応いただきありがとうございます。

さて、本日ここに、最新鋭設備による機能性精米工場の完成と、その稼働開始という記念すべき日を迎える事が出来たのも、ひとえに、本日もお集りいただきました皆様のご支援の賜物と深く感謝している次第であります。

特に建設の大きなハードルでありました予算面では、令和4年度補正予算による国の農産物等輸出拡大施設整備事業交付金の採択や、町予算の中心である一般会計予算から多大なるご支援を賜り、最新機器を導入した国内初、世界初の機能性精米工場が、本町開基130年と云うこの節目の年に、無事完成する事ができました。

あらためて、本日も越えさせていただいております地元衆議院議員の東代議士、菊地東川町長、能登議会議長をはじめ議員の皆様、関係団体の皆様方には、このたびのひがしかわライスターミナル建設だけではなく、農地再編整備事業や地域振興事業など、本町農業の必要予算を優先確保いただいておりますことにも、心から厚く感謝とお礼を申し上げます。

引き続き、第二期工事開始により来々までの本体施設の早期完成や、国営事業の工事進展、各種農業関連予算につきましても、これまでと同様にご支援を賜ります

ようよろしくお願い申し上げます。

また、このたびの精米工場の建設は、技術面のサポートも多々いただいております、既存設備による精米機能だけでは無く、これからの北海道米の産地直営工場として、サタケ社製の最新装置を取り入れ、輸出事業や長期間の品質保証が期待される「高度衛生良質米製法」と、お米の栄養価と美味しさにこだわった「機能性健康米製法」によるダブル製法ラインを導入、さらに施設の床下全面に備炭炭を敷き詰めた炭素埋設技術による節電装置も設置し、東川米の美味しさ、健康、衛生、環境と、省エネ効果へのクリーン化にも大きく貢献できる機能が備わっています。

こうしたことから、この精米工場完成が、国の食料安全保障や世界の食料問題、近い将来の慢性的な栄養不足などを鑑みて、国内初となる新発想・新技術による次世代型精米プラント、ひいては、国内有数の米どころとして、新たな北海道米の存在感を示すことができる未来型の食品製造工場になり得るものと確信しております。

精米工場の完成と第二期工事の開始にあたりましては、計画段階より建設構想や作業工程管理、パールライス石狩工場への職員受入などのご指導をいただき、本工事の施工管理をいただきましたホクレン旭川支所様、私も産地の意向をお汲み取りいただき、必要となる調査研究や技術開発のもと、本工事をご担当くださいました株式会社サタケ様、ひがしかわライスターミナル付帯施設であります「東川米品質管理事務所」の新築工事や、用地造成工事、稼働準備のサポートをいただいております株式会社ベスト様をはじめ多くの工事関係者の皆様、東川米関連施設建設委員会の皆様より、多大なるご尽力を賜り、さらには、地域の皆様にも本工事中は何かと迷惑をお掛けしましたが、ご協力をいただきましたこと、重ねて心より感謝申し上げます。

当JAのブランドであります「東川米」の取り組みは、平成元年より現在の生活協同組合コープさっぽろ様と、当時の道産米「きらら397」の消費拡大に向けて、「コープ組合員産地交流事業」を開始し、「美味しい米づくり」を目標に、「全量一等米出荷」や「化学農薬・化学肥料の削減」、「ほしのゆめ作付け70%運動」や「東川米信頼の証10か条」の制定、「コープ農業特別賞」受賞と道産米初の「地域団体商標登録」など、コープ組合員の皆様とともに歩み、より信頼される米づくりを目指して両者努力を重ねてまいりました。

さらに近年では、日本人の米食習慣の希薄化と消費減少が加速するなか、戦略的な水田活用米穀の取り組みにおいては、大衆産業株式会社様や百農社国際有限公司様のご協力により、大手酒造メーカーや製パンメーカーとのタイアップ商品の開発、「お

むすび」と云う形で海外マーケティング展開による輸出実績の拡大など、東川米は一歩進んだ道産米ブランドを創出するために、さまざまな活動をしてまいりましたが、気が付きますと早35年が経過いたしました。

その間、すべてのお取引先の皆様、消費者の皆様の温かいご指導、ご支援を頂戴しながら、生産者・JAが丸となって売れる米づくりに邁進し、その都度、栽培基準の見直しや流通体制の整備・改善、強化を図ってまいりました。

また、完成しました精米工場では、JA単位では難しいと云われていますが、食品管理の取組を認証する規格「食品安全マネジメント規格」の取得や、今後3年以内には国際規格「FSSC22000」の取得も準備しており、より高度なグローバル基準のもと食品安全衛生体制を構築・運用させ、社会的信用や国際貢献活動も念頭に置きながら事業を展開してまいります。

引き続き生産現場では、本町の水稻生産者が美味しい米づくりに励み続け、そしてこの精米工場が他社には真似のできない唯一無二の「東川米 精米」をお届けしてまいりますので、東川町民をはじめお取引先の皆様、国内外のお客様からのご期待に沿えるよう、安心して精米加工を任せていただけるものと確信しております。

これまでの行政やお取引先の皆様、関係団体の皆様と築いてまいりました信頼関係は揺ぎ無く、掛け替えのない大きな宝となって、私も生産者・JAの勇気と大きな支えになっております。

私どもにとって、不透明なこの時代に精米工場を含め、大規模ライスターミナルの建設は容易なものではございませんでしたが、この様な時代だからこそJAは新時代に向け覚醒し、オール東川、体制のもと、関係者が丸となって基幹産業である農業を中心に地域活性化にも取り組まなければなりません。

わたくしは、「ひがしかわアグリ2050宣言」のもと、消費者ニーズに応える新しい米食文化への価値創造や世界で売れる輸出事業など、しっかりとした販売計画と受注予測に基づく水張り生産能力の拡大を目指し、本町農業の将来を見据えなければならぬと日々思っております。

本日、機能性精米工場稼働開始式、並びに米穀乾燥調製貯蔵施設新築工事の安全祈願祭を開催できました事を大変嬉しく思いますが、改めてさらなる重責に大変身の引き締まる思いでございます。

どうかこれからも皆様方には、何かとお世話になるかと思いますが、変わらぬご指導、ご鞭撻のほど重ね重ねお願い申し上げます、また、本日も列席の皆様のご健勝とご

JA HIGASHIKAWA Topics

ひがしかわライスターミナル機能性 精米工場内覧会



6月12日(水)から14日(金)に、西3号北31番地ひがしかわライスターミナル機能性精米工場にて内覧会が行われ、生産者、当JA職員合せて約90名が出席しました。内覧会では、世界初の導入となる「高度衛生良質米ライン」、通常の白米に比べて高い栄養価を保持させる「機能性健康米製法ライン」等の説明が行われました。6月24日より運営を開始させ、最先端の機能を有する精米工場として東川町内における需要拡大や海外(輸出)での販路拡大を目指します。

JAひがしかわ 役員研修会



6月13日(木)から14日(金)、JA北海道中央会本所で役員研修会を実施いたしました。JA北海道中央会の樽井会長、山元参事兼総合支援部長、高橋総合企画室兼協同活動推進室長他、中央会職員から「JAの不祥事未然防止」、「第31回JA北海道大会に向けた組織討議」についての説明を受けた後、農業所得の安定確保や食農教育の取り組みなどについて意見交換を行いました。

年金友の会 定期総会開催

5月29日(水)、JA2階ホールにて年金友の会定期総会が開催されました。

開催に先立って北海道旭川方面旭川東警察署生活安全課藤澤係長より『犯罪から身を守るために』と題し講演をいただきました。

オレオレ詐欺、架空請求詐欺、SNS型投資口マンズ詐欺など、報道等でよく耳にする特殊詐欺について説明があり、今すぐできる対策について説明がありました。特殊詐欺等防止のため、少しでも不安に思うことがあれば『#9110』(警察相談窓口)へ連絡しましょう。

総会では、様々な活動計画を提案し、議案は全て可決承認されました。今年度は、パークゴルフ大会(2回)、道内親睦旅行(一泊二日)など楽しい企画を計画しています。

お誘い合わせのうえ、ご参加いただきますようよろしくお願いいたします。



- 【役員】
- 会長 林 次男
 - 副会長 小林 敏樹
 - 理事 高橋 賢治
 - 監事 竹田 笑子
 - 監事 村中 悦子

林次男
新任会長
就任挨拶



会員皆さまにおかれましては益々清栄のこととお喜び申し上げます。この度令和6年度年金友の会会長に就任させていただくこととなりました。乗原前会長、2年間本当にありがとうございました。年金友の会では『生きいきワクワク楽しい生活、みんな熟年代からの元気人』をモットーに会員皆さまの生きがいづくり、さらには農協機械燃料課にご協力いただいております、JAスタンドの灯油定期配送が1リットルあたり2円引きの特典もありますので農協事業の積極的利用も周知しながら友の会独自の企画もあわせて会員相互の親睦と新規会員の募集を継続して参ります。最後になりますが、選任されましたうえは新役員とともに多くの会員皆さまが楽しんでいただけるよう、誠心誠意努めさせていただきます。どうか、今までと変わらぬご支援やご協力のほどお願い申し上げ、就任の挨拶とさせていただきます。



生活協同組合コープさっぽろ商品本部 食品部長 櫻庭梨香様

昨今、米不足のなか、当組合では、前年比120%の進捗で普通米・無洗米ともに好調に推移しています。その中でも、東川米は長年組合員にご支持いただき、コープさっぽろの主力商品となっております。最新設備の高度衛生良質米製法、機能性健康米製法を導入することにより、コープ組合員にも喜んで頂けると思っております。

今、多くの国内農業関係者が東川町に注目し、本日稼働を迎えるひがしかわライスターミナル機能性精米工場に大きな期待を寄せています。



衆議院議員 東 国幹様

農業の憲法とも言われる食料農業農村基本法の改正が25年ぶりに可決されました。その過程では、食料農業農村基本法の中に輸出が入るのかということが争点になったが、農産物の輸出は生産者の経営を安定させるのももちろんのこと、農産物のブランド力向上にも寄与するものであり、ひいては国内における需給調整緩和にもつながります。これらのことから、輸出が国内の需給調整に資する施策になることは間違いございません。

活躍を祈念いたしまして、簡単ではありますがお礼の挨拶に代えさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

早期発見、早期治療のために 人間ドックを受診しましょう!

ご家族、大切な方のために、そして何よりご自身のために受診をおすすめします。
■旭川厚生病院「人間ドック」予約状況

2024年8月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
				×	×	×
4	5	6	7	8	9	10
×	×	×	×	×	×	×
11	12	13	14	15	16	17
×	×	×	○	○	○	×
18	19	20	21	22	23	24
×	○	×	×	×	△	○
25	26	27	28	29	30	31
×	△	×	×	×	△	×

2024年9月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
×	○	×	×	×	×	×
8	9	10	11	12	13	14
×	○	×	△	×	×	×
15	16	17	18	19	20	21
×	×	×	○	×	×	×
22	23	24	25	26	27	28
×	×	△	○	×	△	○
29	30					
×	○					

正組合員(本人・同居家族)
准組合員限定
人間ドック検診費用助成
厚生病院での一般受診料金
44,000円が
31,900円に!
※オプション検査は助成対象外

男性：月曜日・水曜日・金曜日、女性：火曜日・木曜日

予約表の見方：○10名以上の空き △残りわずか ×予約が埋まっています
お申込み順となるためご希望日が埋まっている場合もございます。
人間ドックの申し込みや、お問い合わせは営農企画課(Tel.82-2124)まで

JAひがしかわ野球部特集!

5/21(火)
ホクレン旭川支所と練習試合



今年初の試合は、町民グラウンドにてホクレン旭川支所と練習試合を行いました。昨年は、3対13と完敗しましたが、今年日々の練習の成果を発揮し4対1で勝利することができ、良いスタートを切ることができました。

5/29(水)
東川町役場と練習試合



昨年も試合をさせていただいた東川町役場との試合は、JAひがしかわ女性職員2名も試合に出場し、熱い戦いとなりました。結果としては3対4で惜敗となりましたが、部員同士声を掛け合いながら上川管内農協野球大会へ向け精一杯練習に励みました。

6月13日(木)、14日(金)に旭川ドリームスタジアムにて、上川野球大会が開催され野球部が出場いたしました。



第1回戦 6/13(木)
ホクレン旭川支所との対戦



大会初戦の相手は、5月21日(火)に練習試合をさせていただいたホクレン旭川支所で、昨年の悔しさをバネに一年間練習してきた成果を発揮し、10-0でコールド勝ちすることができました。

第2回戦 6/14(金)
たいせつ農協との対決

たいせつ農協との対決は、初回ホームランを打たれましたが、その回の裏2点を返し、同点へと持ち込みました。その後、得点をとられ結果は2-12でコールド負けとなり、悔しい結果となりました。



キャプテン田中米穀課主任より



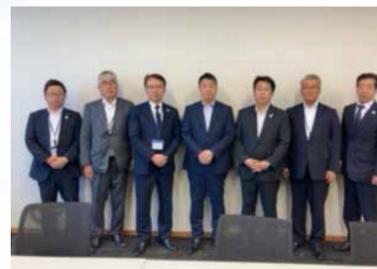
日頃より、組合員皆様からの暖かいご支援、ご声援を賜りまして心から感謝申し上げます。
JAひがしかわ野球部は昨年に設立され現在、部員18名で活動を行っています。6月13日より、旭川ドリームスタジアムにて、上川管内JA野球大会が開催され、目標であった一回戦を勝利することができました。結果は二回戦敗退でしたが、来年度は二回戦突破を目標に、打撃、守備、走塁、全ての面でレベルアップができるよう野球部一丸となり、日々の練習に励んでまいります。
今後とも、JAひがしかわ野球部への変わらぬご支援、ご声援のほど、よろしくお願い申し上げます!



道外トップセールス

6月3(月)から4日(火)の2日間の日程で牧組合長、菊地町長、大橋東和土地改良区理事長、高橋大雪東川地区促進期成会会長によるトップセールスを実施いたしました。

「大雪東川地区国営緊急農地再編整備事業」の予算確保及び「ひがしかわライスターミナル」第一期工事(機能性精米工場)完了と第二期工事の支援(補助)確定に係る御礼のため、12名の国会議員と面談いたしました。各議員からは東川町の取り組みに対して高く評価を頂くとともに、今後の活動について引き続きアドバイスやご助力を頂けると仰ってくださいました。



東国幹衆議院議員



岩本剛人参議院職員



宮下一郎衆議院議員



長谷川岳参議院議員



藤木真也参議院議員



進藤金日子参議院議員



高橋はるみ参議院議員



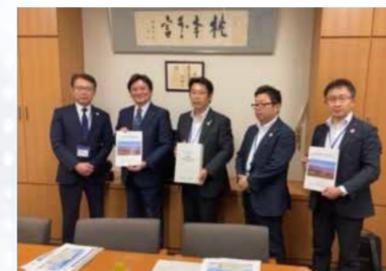
船橋利実参議院議員



加藤勝信衆議院議員



稲津久衆議院議員



武部新衆議院議員



鈴木憲和衆議院議員

2024年 7月の予定

1 月
2 火
3 水
4 木
5 金 5の付く日 (スタンド店頭ガソリン・軽油5円引き)
6 土 招魂祭のため事務所・資材店舗休業
7 日
8 月
9 火
10 水
11 木
12 金
13 土 購買指導課営業日 8:30~12:00
14 日
15 月 海の日 5の付く日 (スタンド店頭ガソリン・軽油5円引き)
16 火
17 水
18 木
19 金
20 土 購買指導課営業日 8:30~12:00
21 日
22 月
23 火
24 水
25 木 5の付く日 (スタンド店頭ガソリン・軽油5円引き)
26 金
27 土 購買指導課営業日 8:30~12:00
28 日
29 月
30 火
31 水

2024年 8月の予定

1 木
2 金
3 土 購買指導課営業日 8:30~12:00
4 日
5 月 5の付く日 (スタンド店頭ガソリン・軽油5円引き)
6 火

理事会の動き

第7回 理事会 日程：令和6年6月21日(金)

【議決事項】

- 議案 1号 令和7年度(令和6肥) 肥料価格の設定について
- 議案 2号 夏期農協懇談会の開催について
- 議案 3号 固定設備の処分・取得・修繕について
- 議案 4号 賃金規程の変更について
- 議案 5号 令和7年度職員追加採用について

ご愛読者の皆様へ
新聞購読料
改定のお知らせ

新聞用紙、制作費の高騰により、読者の皆さまには大変心苦しい限りですが、令和6年8月1日から下記の月額購読料に改定させていただきます。今後もより一層、読者の皆さまにご満足いただける紙面をお届けします。

※全て月額、税込み。

対象サービス	改定前	改定後(8月以降)
紙版	2,520円	➡ 2,980円
紙版+電子版 併読	3,620円	➡ 4,080円
電子版	料金据え置き	2,403円

日本農業新聞

農協文庫 新刊

71歳、ひとり暮らし。
楽しい定食疲れていても、おいしい
ものが食べたい!小学生のお料理ブック
2 Super!

JAひがしかわ事務所前エントランスにて展示しておりますので、ぜひお立ち寄りください。

●葬儀・法要のご用命は…24時間フリーダイヤル

JA事業推進係 0120-82-2125へ